

釈迦降誕祝い 歌声響かせ

花巻・桂林寺で
大学生が合唱

花巻市大迫町内川目の桂林寺（佐々木瑞岳住職）で26日、釈迦の降誕会「花まつり」が営まれた。東北福祉大（仙台市）の混声合唱団が本堂で合唱を披露し、参列者が学生のきれいな歌声に心を慰め幸福と安寧を願った。

花まつりは、仏教を開いた釈迦が生まれたとされる日（旧暦4月8日）にちなんだ毎年恒例の催し。今年は同大の卒業生である佐々木住職の要望で、同団の13年生9人による合唱が初めて行われた。

同寺の檀家や地域住民約



桂林寺でハーモニーを披露する東北福祉大の混声合唱団

70人が参列。法要後、同団が団歌「飛翔」を皮切りに曹洞宗の宗歌や中島みゆきさんの「糸」、復興支援ソング「花は咲く」など6曲を披露した。

参列者は同団によるソプラノ、アルト、テノール、バス（女声2部、男声2部）の4部合唱に聴き入ったり、歌詞カードを手に斉唱したりして学生が奏でる美しいハーモニーに浸っていた。

同寺護持会の村田英作会長（81）は「ホールとは違ってお寺では音の響きも異なり変わった趣向でよかつ

た。心が落ち着き、身も心も清らかになった感じがする」と語った。

同団によると、お寺で合唱を披露するのは初めてといい、団長で同大3年の中野聡史さん（20）は「どれくらいの声量でやればいいのか難しかったが、しっかりと歌声を届けられたと思う」と話していた。